

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 1 回 定例委員会
日時	平成 18 年 1 月 20 日 自 15 時 51 分 至 16 時 15 分
場所	苫小牧市役所庁舎 3 階 会議室
出席委員	委員長 吉本俊憲 委員 鈴木正樹 委員 佐藤郁子 委員 佐藤守 委員 山田真久
欠席委員	
会議録署名委員	鈴木委員
会議録作成職員	総務課総務係 主事 上川裕樹
事務局職員	学校教育部長 菊地一己 スポーツ生涯学習部長 鎌田龍彦 総務課長 照井進 総務課総務係長 松野裕 総務課総務係 主事 上川裕樹
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時51分
2 会議録署名委員の指名（鈴木委員）
3 報 告（山田教育長）
(1) はじめに
① 17日から三学期が始まったが、全国的に雪害となっている中、本市においては休み中の事故報告はなかった。今月は、1日付で伊達市教育委員会の能登教育長から有田勉教育長への交代があり、成人式は8日に、全道教職員アイスホッケーが9日、羽山胆振教育局長を講師に校長・教頭合同研修会が12日、市教委新年会が13日にそれぞれ行われた。
② 今月に入り、読売新聞紙上で幼稚園から義務教育、朝日新聞紙上では特別支援教育制度改革案の今月国会提案固まるなどの記事が掲載されていたが、幼稚園からの義務教育については文部科学省では否定しており、特別支援教育制度改革案については、学習障害児の通級指導の具体性がまだ不明という状況になっている。
(2) 1月16日開催の校長会議での説明内容
① 子どもの安全と心の指導を推進する
・ 地域自治会との連携を強め、お礼と情報の交流を図ること。
・ 学校内安全の確保について再確認する→役割分担、教師の危機意識、施錠と来校者の確認、声かけが大切→防犯教室の実施、マニュアルの修正。
・ 受験・卒業、別れから心が動揺する時期→欠席・不登校の把握、親身な進路相談、あおば学級の支援、卒業式の出席配慮（証書授与の方法）。
② 年度末に当たり学校評価を工夫し、公開に努めて次年度に生かす
・ ほとんどの学校が外部評価を取り入れているが、適材者に適切な評価をお願いする工

夫が必要である。公表する姿勢こそが開かれた学校の目指す方向である。
・ 学校評議員の人選を進め、活用は校長の主体的判断で工夫が必要である。
③ 卒業式は学習指導要領に基づく教育の一環として適正に実施する
・ 社会・音楽の日常指導、特別活動の実践場面を密接に関連させる。
・ 教師個々の内心は尊重するが、公務員の立場で職務専念が優先されること。
・ 学校の課題を整理し、後戻りすることなく粘り強く理解と協力を図ること。
④ その他
・ 12月議会の質疑・答弁について紹介した。
4 議 案 審 議
議案第1号 苫小牧市立小中学校設置条例の一部改正について
(菊地 学校教育部長より概要説明)
・ 苫小牧市立ウトナイ小学校が平成19年4月に開校することに伴い、その設置管理については、地方自治法第244条の2においてこれを条例で定めるという規定があり、今回、苫小牧市立小中学校設置条例の別表(1)に名称「苫小牧市立ウトナイ小学校」、位置「苫小牧市字沼ノ端930番地の1」を加える。
－ 原案どおり可決 －
議案第2号 教職員の処分内申について
(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

